

## 「ロービジョンの集い」報告書

(1)内容:

見えない・見えにくい当事者を中心にご家族や支援の専門家などが集まり、日常生活での困りごとや情報の共有を行うほか、誰もが気軽に相談をできる集いの場を提供。

(2)場所:ビジョンパーク(兵庫県神戸市)

(3)対象:視覚障害者、一般、支援者など  
参加人数136名

(4)開催時期:月1回 計11回

(5)開催日時・内容・参加人数

2019年

5月23日(水)10時～12時

「AIスピーカーで快適ライフ 私たちの生活はどう変わる？」

参加者11名

5月28日(火)14時～16時

「こころとからだの健康を考える集い」

参加者9名

6月25日(火)15時～16時半

「スマホ・タブレット活用法」

参加者14名

7月30日(火)14時～16時

「将来の夢や進路を考える集い」

参加者7名

8月26日(月)10時～12時

「スポーツやレクリエーションで心も身体も健康に！」

参加者22名

9月24日(火)14時～16時

「家事や趣味を楽しむ集い」

参加者18名

10月30日(水)13時から14時半

「見えなくても見えにくくても楽しめる旅行術！ ♪温泉の入り方から海外旅行まで♪」

参加者9名

11月26日(火)14時～16時  
「人生を語り、楽しむ集い」参加者  
11名

12月17日(火)14時～16時  
「ITを活用したサポートシステムあれこれ」  
参加者15名

2020年  
1月28日(火)14時～16時  
「見えない見えにくい子供をもつ親の集い」  
参加者8名

2月27日(水)15時～16時  
「食事や栄養について語る集い」  
参加者12名

3月26日(火)14時～16時 ※新型コロナウイルス感染防止の観点から中止。  
「仕事や家族のことを考える集い」

※ロービジョンの集い活動レポート参照

<https://vision-care.nextvision.or.jp/project#anchor3>

#### (6)総評

視覚障害者だけでなく、その家族や友人知人が参加することが多く、ロービジョンケアや視覚障害に対する知識・情報を共有する機会となった。また、福祉施設や支援施設、教育機関等の支援者も参加することから切れ目のない横断的な連携・支援が可能となった。

視覚障害者の中でも、特に受障後間もない方が孤独を感じやすく、自由に話せる場所を提供することで、同じ障害を持つ人は自分一人ではないことを知り、仲間がいる安心感からこれまで「できない」と思っていたことに挑戦したり、気持ちを切り替える一助になると考える。

また、視覚障害者の家族にとっても、日常の生活の中では出会う機会の少ない家族以外の視覚障害者の就労や学習など生活を見聞することで、過度な保護、介助の不要性に気づき、適度なかかわり方を認識することにつながる。正しく、必要な情報を得ることが視覚障害者ならびに家族・支援者双方の不安の解消につながり、最終的に自立を促すことを再認識した。